

三回書いてみましょう。送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

腕	藩	憎	鋭	唾	端	隣	闇	倒	削	黙	肝	慌	響	吹	侍
うで	はん	にくーしみにくーいにくーらしい	えいするどーい	つば	はし(は)はた	りんとなりとなり	やみ	たおーれるたおーす	けずーる	だーまる	かんきも	(こウ)あわーてるあわーただし	きョウひびーく	ふーく	さむらい
腕	藩	憎	鋭	唾	端	隣	闇	倒	削	黙	肝	慌	響	吹	侍
腕	藩	憎	鋭	唾	端	隣	闇	倒	削	黙	肝	慌	響	吹	侍
ノ	一	、	ノ	、	、	、	ノ	ノ	、	、	ノ	、	、	、	ノ
⑬ 腕が鳴る (うで)	⑮ 藩に仕えた医師 (はん)	⑭ 憎しみが消える (にくしみ)	⑬ 鋭い剣先 (するどい)	⑫ 生唾を飲み込む (なまつば)	⑪ 道の端を歩く (はし)	⑩ 席が隣の人 (となり)	⑨ タ闇が迫る (やみ)	⑧ 本が倒れる (たおれる)	⑦ 木を削る (けずる)	⑥ 泣く子も黙る (だまる)	⑤ 肝心なことを忘れる (かんじん)	④ 忘れ物に慌てる (あわてる)	③ 校内に演奏が響く (ひびく)	② 北風が吹く (ふく)	① 尊王攘夷派の侍 (さむらい)

さんちき

その他の教科書に登場する漢字の読み

送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

① 政治 と経済の話題	（ せいじ ）	①⑦ 探 し物が見つかる	（ さが し ）
② 違反を取り締まる	（ し まる ）	①⑧ 結局 仲直りした	（ けっきょく ）
③ 近頃 の流行り	（ ちかごろ ）	①⑨ 大変 満足 する	（ まんぞく ）
④ 構 わず発言する	（ かま わず ）	②⑩ 並 んで待つ	（ なら んで ）
⑤ 額に汗 がにじむ	（ あせ ）	②⑪ 行き先を指差す	（ ゆびさ す ）
⑥ 驚いて跳 び上がる	（ と び ）	②⑫ 水面が盛 り上がる	（ も り ）
⑦ ろうそくの火を吹 き消す	（ ふ き ）	②⑬ 家に駆け 戻る	（ もど る ）
⑧ 晩飯 を平らげる	（ ばんめし ）	②⑭ 誠に無念 である	（ おねん ）
⑨ 激しい雨が降る	（ はげ しい ）	②⑮ 綿棒 の買い置き	（ ぼう ）
⑩ 旗を振 る	（ ふ る ）	②⑯ 次第 にはっきりする	（ しだいに ）
⑪ ゆらゆらと燃 える	（ もえ える ）	②⑰ 出発 間際 のベル	（ まぎわ ）
⑫ 全く気付かない	（ まった く ）	②⑱ 昔の面影を 残す	（ のこ す ）
⑬ すっかり間違 える	（ まちが える ）	②⑲ 余分 に準備する	（ よぶん ）
⑭ 自分の順番 が来る	（ じゅんばん ）	③⑰ 大勢 の助っ人が集まる	（ おおぜい ）
⑮ 角が欠 ける	（ か ける ）	③⑱ 声の調子 を変える	（ ちょうし ）
⑯ 事態の裏側	（ うらがわ ）	③⑲ 親方は腕 がいい	（ うで ）

さんちき

新出漢字とその他の教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① 尊王攘夷派の そのうじょういは さむらい (侍)	② 北風がふく (吹く)	③ 校内に演奏がひびく (響く)	④ 忘れ物にあわてる (慌てる)	⑤ かんじん なことを忘れる (肝心)	⑥ 泣く子もだまる (黙る)	⑦ 木をけずる (削る)	⑧ 本がたおれる (倒れる)	⑨ タやみ が迫る (闇)	⑩ 席がとなりの人 (隣)	⑪ 道のはしを歩く (端)	⑫ なまつばを飲み込 (生唾)	⑬ するどい 剣先 (鋭い)	⑭ にくしみ が消える (憎しみ)	⑮ はんに仕えた医師 (藩)	⑯ うで が鳴る (腕)
⑰ せいじと経済の話題 (政治)	⑱ 違反を取りしまる (締まる)	⑲ ちかごろの流行り (近頃)	⑳ かまわず 発言する (構わず)	㉑ 額にあせ がにじむ (汗)	㉒ 驚いてとび上がる (跳び)	㉓ ろうそくの火をふき消す (吹き)	㉔ ばんめしを平らげる (晩飯)	㉕ はげしい 雨が降る (激しい)	㉖ 旗をふる (振る)	㉗ ゆらゆらともえる (燃える)	㉘ まったく気付かない (全く)	㉙ すっかりまちがえる (間違える)	㉚ 自分のじゅんばん が来る (順番)	㉛ 角がかける (欠ける)	㉜ 事態のうらがわ (裏側)

さんちき

教科書に登場する漢字の書きの続き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① さがし 物が見つかる (探し)	□ すいそうがくぶ (吹奏楽)
② けつきよく 仲直りした (結局)	□ おんきよう 設備 (音響)
③ 大変 まんぞく する (満足)	□ きもにめいずる (肝)
④ ならんで 待つ (並んで)	□ 本のもくどく (黙読)
⑤ 行き先を ゆびさす (指差す)	□ 経費を さくげん する (削減)
⑥ 水面が もり上がる (盛り)	□ あっとう 的に勝つ (圧倒)
⑦ 家に 駆け もどる (戻る)	□ りんせつ する地域 (隣接)
⑧ 誠に おねん である (無念)	□ きよく たん な例 (極端)
⑨ 綿 ぼう の 買い置き (棒)	□ だえき で 検査する (唾液)
⑩ しだい にはつきりする (次第)	□ えいり な刃物 (鋭利)
⑪ 出発 まぎわ のベル (間際)	□ 心にくい 気配り (憎い)
⑫ 昔の 面影を のこす (残す)	□ さわん 投手 (左腕)
⑬ よぶん に 準備する (余分)	□ かんぞう の機能 (肝臓)
⑭ おおぜい の 助っ人が集まる (大勢)	□ はっかん 作用がある (発汗)
⑮ 声の ちょうし を変える (調子)	□ ノートの はし に書く (端)
⑯ 親方は うで がいい (腕)	□ みちばた の草 (道端)